

1. 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調の対応について

(1) 入札不調の主要因について

① 中東情勢に伴う原油由来資材への影響

中東情勢の緊迫化及び長期化の煽りを受け、原油由来の建築資材（例塗料や防水材など）の入荷の先行きが不透明になっている。

② 材料価格の高騰

原材料費や物流コストの高騰が継続し、事業者が将来的なコスト変動のリスクを抱えることとなり、採算性の確保を見通すことが難しい。

(2) 市としての対応について

① 市庁舎長寿命化改修工事の「一旦見送り」

- ・建築資材の納期遅延に伴う工期延長、また工期延長に伴う諸経費の負担増が考えられる。
- ・原油由来の建築資材の一時的な価格高騰の影響を受ける。
- ・設計条件を据え置きのまま再入札しても更なる不調のリスクがある。

② 優先度の高い改修項目は切り分けて発注

- ・市庁舎の機能維持や安全確保の観点から優先度の高い改修項目については切り分けて工事を実施する。
- ・建築資材の供給状況を考慮しながら、工事内容を検討する。

2. 中央公民館・コミュニティセンター長寿命化改修工事の工期延長等の対応について

(1) スライド条項による請負代金額変更請求について

- ・スライド条項により請負代金額変更の協議が令和8年6月5日に書面により提出された。
- ・当初請負金額：1,010,460,000円(税込)
- ・概算請求額(増額分)：89,742,821円(税込)
- ※金額については、今後、受注者と調整を行いながら精査し算定します。

(2) 工期延長申請について

- ・中東情勢の影響を受け、建築資材(アスファルト防水材)の納入が遅れており、当初契約工期内での完成が難しいため、令和8年6月19日に工期延長申請が提出された。
- ・当初工期：令和7年10月1日～令和8年11月30日
- ・工期延長期限：令和9年3月31日まで(121日間)

(3) 今後の対応について

- ・スライド条項による増額分、及び工期延長に伴う諸経費増額分について補正予算計上予定。
- ・変更契約については補正予算計上時に、議案上程予定。

3. 建物系個別施設計画の対応について

(1)建物系個別施設計画に位置付けられるスケジュールを全体的に後ろにスライドさせる

- ・中東情勢に伴う建築資材の影響を大きく受けると想定される「朝霞市建物系公共施設マネジメント実施計画」及び「朝霞市学校施設長寿命化計画」については、市庁舎長寿命化改修工事と同様のリスク(工期延長に伴う負担増や建築資材の価格高騰の影響、入札不調など)が想定されるため、今年度予定していた他施設の設計等の業務を後ろにスライドさせる。
- ・両計画に位置付けられるスケジュールについても、全体的に後ろにスライドさせる。

(2)今後の対応について

- ・各施設の機能維持や安全確保の観点から、改修が必須となる改修項目は切り分けて工事を実施する。
- ・その他の大規模な改修工事等について、状況を鑑み検討する。
- ・国際情勢の動向を注視し、安定した段階で適切な発注等ができるように国の動向や市場調査を継続して実施する。